

令和元年第23回定例公安委員会会議録

開催日時 令和元年8月1日(木) 午前11時～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時25分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 佐野警察本部長 伊貝警務部長 谷村首席監察官
長谷高生活安全部長 松岡刑事部長 柳清交通部長
牧田警備部長 竹森警察学校長 妹尾情報通信部長
樋口警務部参事官 山本黒坂警察署長

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官、中田補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 各種大会等報告
- 令和元年上半期の交通事故発生状況
- 8月中の入校及び行事概況等
- 黒坂警察署強靱化プロジェクト

(1) 各種大会等報告(警務部)

警察本部

本年6月30日、倉吉市営武道館において開催された「令和元年度国民体育大会柔道競技鳥取県予選会」に、柔道特別訓練員等10人が出場した。

大会は、トーナメントによる個人戦であり、男女とも五つの体重区分により実施され、男子は全ての区分、女子は大将の部に出場した。

結果は、成年男子中堅の部に出場した警察官が優勝し、本年10月に開催される茨城国体への出場権を獲得した。

7月21日、鳥取県立武道館において開催された「第43回鳥取県剣道選手権大会兼全日本剣道選手権大会鳥取県予選会」、「第38回鳥取県女子剣道選手権大会兼全日本女子剣道選手権大会鳥取県予選会」に剣道特別訓練員等15人が出場した。

男子の結果は、警察官が優勝したほか、ベスト8に4人が入賞した。女子の最高位は3位入賞であった。優勝した男性警察官は、11月3日に大阪府中央体育館で開催される全日本剣道選手権大会に出場予定である。

委員

先日、訓練の視察を行ったが、暑い中、一生懸命に訓練をされていた。訓練の成果が出て良かったと思う。引き続き、頑張ってください。

委員

国体等に出場することであり、是非、良い成績を収めていただきたい。

(2) 令和元年上半期の交通事故発生状況

警察本部

令和元年上半期の交通事故件数は371件である。過去10年の同期をみると、交通事故件数は大幅に減少し、減少率は57.6パーセントである。その一方、高齢者（65歳以上）が第1当事者となる交通事故の割合は年々増加し、本年上半期は27.8パーセントと、平成22年から9.5ポイント増加した。

交通死亡事故は13件発生し、13人の方が亡くなられた。月別では、3月と6月に4人の方が亡くなられ、それぞれ交通死亡事故多発警報が発令された。年齢別では、被害者のうち7人が高齢者であり、53.8パーセントを占める。

下半期に向け、夏期特有及び年末に向けた交通事故抑止対策の推進、交通安全緊急対策を踏まえた交通事故防止対策の更なる推進及び年間を通じた交通事故抑止対策を実施する。

委員

最近では、全国的に反響の大きな交通事故の報道が多かった。交通マナーやルールなど、少し気を付ければ防げる交通事故もあると思う。今は暑い時季でもあり、夏特有の交通事故も増えるかもしれない。引き続き、交通事故抑止対策を行っていただきたい。

(3) 8月中の入校及び行事概況等（警察学校）

警察本部

8月中の入校関係は、現在入校中の初任科第89期、第90期に対する採用時教養を引き続き行うほか、6専科が入校する。本年5月から入校していた初任補修科第36期は、8月8日に卒業を迎える。

行事関係は、8月23日に開催される「鳥取県警察柔道・剣道・逮捕術大会」に学生が出場予定であり、大会に向け、夏季特別術科訓練を実施し、集中訓練を行う。

6月、7月中は、国体柔道競技県予選会、県剣道選手権大会等に出場した学生もおり、健闘していた。そのほか、捜査書類検定、夏山登山訓練等を実施した。

8月は、盆期に合わせ成人式を開催する自治体もあることから、学生のワークライフバランス等を考慮し、盆期に休暇を取得することとしている。

委員

土日に大会に出場する学生もいるが、休暇は取得しているか。

警察本部

採用時教養中であり、平日に代休を取得することは難しいため、学生には声掛けを行うなどのサポートをしている。

委員

声掛け一つで学生のモチベーションも変わると思う。引き続き、しっかりとサポートを行っていただきたい。

委員

初任補修科生は、間もなく卒業し、現場に戻る。警察学校で習得した知識や経験を生かし、現場で頑張りたい。

(4) 黒坂警察署強靱化プロジェクト（黒坂警察署）

黒坂警察署

警察職員が、住民の期待に応えた警察活動を行うとともに、生きがい・やりがいを持って充実した生活を送るためには、一人一人の能力を向上させることが必要である。当署では、「黒坂警察署強靱化プロジェクト」として、警察職員としての高い倫理観を醸成するとともに、職務能力を向上し、職員が自分なりにやる気を向上させる取組を推進している。

まず、署長による職務倫理講座を定期的で開催し、警察職員としての誇りと使

命感の醸成を図っている。

次に、知識、技能の向上方策については、専門的な知識、経験を有するベテランの署員による実務講座を開催し、知識等を伝承している。これは、ベテラン署員にとっても、講座を通して若手署員と接したり指導をする中で、より一層、やる気を醸成する効果がある。また、当署は大規模警察署と比較すると事案数が少ないため、実際の事例を活用した突発事案対策検討会を開催し、事案対処能力の向上を図っている。そのほか、若手署員に執務資料作成を担当させ、作成過程で根拠法令や手続等を学ぶことで能力の向上につなげたり、当直指揮訓練を定期的で開催し、当直体制時においても、一つ一つの確に事案対応ができるようにしている。

なお、本年7月9日に当署管内で局地的豪雨が発生したが、この時は、事前に災害対応について当直指揮訓練を行っていたことで、迅速・的確に対応できた。

最後に、平素の職務における好事例・模範事例について、署長のコメントを付してタイムリーに紹介することで、署員のモチベーションとやる気の醸成を図っている。

今後も一つ一つの事案を丁寧に対応し、より強く、しなやかな黒坂警察署にするべく、取り組んでいく。

委員

好事例等を署長のコメントを付して紹介する点について、署員は、「頑張りが認められている。」と感じると思う。モチベーション維持のために、良い取組である。引き続き、署員への声掛けを行っていただきたい。

委員

災害対応について、事前の訓練が実を結び、良かった。

委員

良いタイミングでシミュレーションし、訓練されていたと思う。黒坂警察署は、管轄面積も広く大変な面もあると思うが、引き続き、住民のための活動をお願いする。

黒坂警察署

更なる訓練を重ねていきたい。

5 その他

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 決裁

- ・ 警察署協議会関係
- ・ 指定自動車教習所関係

4 視察等

DVD視聴（プロムナードコンサート）

5 警察本部との昼食会

警察本部との昼食会に、本部長、各部長の出席を求め、意見交換を行った。

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。